

とて害の無き療法であるにより皆知りて置けよ  
 一天は一切を教へて置くにより皆天に御禮を申せよ

### 蜂ハチ

此蟲に螫れたら直ちに油又酒をぬり付よ夫で痛も去る又後とて少しも害は無し是を知れよ蜂は悪漢共の再生であるぞよ是は毒蟲にして人にして蜂の子を食す者あり是を馬鹿と申ぞよ食へば必ず其身に害あり是を知りて置けよ其害は鼻血を出す又逆上甚し是を百害と成るの元にして恐ろしきものと知れよ又蜂は蜜を取る是は寢小便を爲す者は食しても良し是は冷へを取りて温むるにより夫で良し又是は蜂の體を離れて天日に當るにより夫で害は無し又是を眼に觸れると害あり是は蜂の氣と眼とは敵きであるにより是を知れよ又是を口中の荒れし時に付ると良し是は

糖分にして氣強し夫で其熱つを取るにより夫でよし又是は腹部に害あるにより餘り多量は悪し是を知れよ天授

### 蝮ムシクシ又蛇ヘビ

此蟲に螫れたる時は煙草の脂にをぬれ又煙草を熱つき湯につけて此湯にて洗へ又其後とて鹽湯で洗へ是を五六回夫で良し又此蝮の害は身體を腐敗らすにより皆直ぐに此手當を爲せよ夫で良し又此時に胸と頭を鹽湯の中に少し酢を入れて此湯にて三度洗へ夫で後ちの憂ひは無し又此外の毒蟲に螫れたら何時にても鹽湯の中に少し酢を入れて此湯にて三四回洗へよ是で一切良し右天の御仰

右の事は世の中で知りて居る事なれど是は知らざる者に教へるのである夫で見る人は此心して見て被下よ又

天といふものは何から何まで世の者に教へ候て世の者を賢にす  
 是を  
 天親の心にして是を慈悲といふ又今は學も進みて賢者は多ふけ  
 れど我れの身の上を知るの士は又稀れなり夫で落ちて泣く者多  
 し夫で一切を知りて知らず是を淺と申ぞよ又世の人は何れも我  
 れ多し夫で是なり是が皆  
 天を知りたなら夫こそは鬼に金棒といふても良し夫が我々々に  
 して少しも知れず夫で學士も博士も落ちて泣く今の世は是にし  
 て取る所は無し又今として世の騒々喧々さよ是を上御政府は如  
 何して御治めある哉實に御氣の毒にして  
 天は是を御案じ申能く皆様心を合して世を御治め被下よ自治又  
 愛は是にて候頓首大拜

## 跋

因縁因果人には是がある是は世々代々累世の縁者にして是を祖  
 先といふて居る其祖先が今の孫とも知らずして祖先の命日なり  
 と申て佛事を爲す抑是が知れず又伯母は婦夫が我れの蹟取子息  
 と成りて居る是も不知又  
 天より神の子を授けて貰ひ夫が賢なり是又其故知れず是は今世  
 として變り目であるにより其一つを教へてなり是は是より段々  
 と生れ來る者共の書にして今の世の人様には不向なり是を今書  
 したる其譯けは今は大正十四年にして時なり其時と申のは少し  
 世が變りて來るにより夫で御用意として御書かせありしなり又  
 筆者は本年六十一歳にして老體なり是を失ふと今世に  
 天が筆を執らすの者も無し夫で少し早くも此書を出したり然れ

ば生は善なりといふ其善が何れにか行きてなり夫で今は大悪又  
 悪にして親でも子でも皆心は別にして愛和すの眞とては毫も無  
 し皆我慾に耽けりてなり是を今大正年度といふ古しへは是で無  
 し其親子相和す事沈砂の如し夫が今は騒々喧々是は犬にして苟  
 しくも人の持つ心では無し是を無常道といふ皆御心得あれ是は  
 世の末にして頼ずるゝは是なり今に見る夢の大き事是を未來と  
 いふ眞は是なり是を

天が爲すよと知られよ大元の大和民族と爲しますぞへ夫で太平  
 國是を近き未來に

天が造りますぞへ能く

天璽の宣ふ所を知られよ今是を跋として伸

大正十四年三月廿日は是を筆者源海戸田爲治郎に書して南

欠

# 欠

大正十四年五月廿日印刷  
大正十四年五月廿二日發行



發行者兼  
源海戶田爲治郎

東京市四谷區舟町廿八番地

印刷者  
本間十三郎

東京市牛込區榎町七番地

不許  
複製  
及  
拔萃

印刷所  
日清印刷株式會社

東京市牛込區榎町七番地

發行所  
東京市四谷區舟町廿八番地  
天教本部

284

475

終